

体育教員が日本について英語で教えてみたら。 Vol.6

♪いちりって、にびみんで、きいで、ぎいで、して♪

Woodvale Secondary College の高校 1 年生が日本語の授業の中でよく口にする歌です。何かわかりますか？

日本語学習において、動詞の Te (て) form を学ぶことは極めて重要です。渡豪して初めて耳にした言葉ですが、日本語指導のためには必須の文法事項です。この Te form を学ぶことで Please eat. や I eat an apple and drink a tea. を表現することができます。

Please eat. を「食べてください」と和訳するとき Te form は使われます。「食べます」→「食べて」と活用させ、後ろに「ください」(Please) をつけることで Please eat. を表現できます。決して「食べますください」「食べるください」と表現しません。

日本語の動詞は右のように 3 つに分類されます。動詞を「～ます」という形にした時に、Regular Verb II は、全て「ます」を取って、「て」をつけることで Te form ができます。例) 食べ(ます)て。Irregular Verb は「する」「来る」の 2 種類で

Regular Verb I : 買います
Regular Verb II : 食べます
Irregular Verb : します、来ます

「する」「来る」は「～ます」にすると「すます」「来(く)ます」とならず、特別な形「します」「来(き)ます」と活用します。ところが Regular Verb I は、Te form を作る時にひとひねりが必要です。この Regular Verb I を適切に活用させる時に、上記の歌が出てきます。

買 <u>い</u> ます → 買 <u>っ</u> て	死 <u>に</u> ます → 死 <u>ん</u> で	聞 <u>き</u> ます → 聞 <u>い</u> て
待 <u>ち</u> ます → 待 <u>っ</u> て	遊 <u>び</u> ます → 遊 <u>ん</u> で	泳 <u>ぎ</u> ます → 泳 <u>い</u> て
帰 <u>り</u> ます → 帰 <u>っ</u> て	飲 <u>み</u> ます → 飲 <u>ん</u> で	話 <u>し</u> ます → 話 <u>し</u> て

♪いちりって、にびみんで、きいで、ぎいで、して♪

分かりましたか？

Regular Verb I は、「ます」の形の動詞を Te form にする時、「ます」の一文字前も活用します。その活用のさせ方が、この歌に秘められているのです。

「～ます」の一文字前が「いちり」→「って」、「にびみ」→「んで」、「き」→「いて」、「ぎ」→「いで」、「し」→「して」と活用させると Te form を作れます。

Please write. : O書いてください ×書いてください←書き(ます)てください

Please wait : O待ってください ×待ちてください←待ち(ます)てください

Regular Verb I を間違えて Regular Verb II の活用をさせるとこのような間違いになります。生徒たちは新出動詞がある度、それが Regular Verb I か Regular Verb II か Irregular Verb かを分類して覚えなければなりません。

I eat an apple and drink a tea. : りんごを食って、お茶を飲みます。

一連の行動の中で 2 つ以上の動作を表現する時も、Te form が使われます。” and ” が Te form を使うことで表現できます。

